

JHRCA

日本ホテルレストランコンサルタント協会 関西支部

1 月例会報告

2008年1月25日

1. 1月例会報告

今月の講師は、1級建築士で「庵建築計画事務所」主宰の森 豊所長より「現代に草庵茶室をよみがえらせるまで」と題して以下の概要でお話いただきました。

- 1) ご自身について現代建築に携わる傍ら和風建築に興味を持ち、木造建築の経験が無かったため宮大工に師事し研究するうちに、和風建築の原点は茶の「侘びの文化」にあると気づき茶道を研究する。
- 2) 茶道文化の歴史を学ぶと茶を「味わう」中国の茶と、侘びの文化を追求する「精神」が主流にある日本の茶道との相違を理解した。
- 3) 侘びの文化の茶道具を引き立たせる舞台装置が茶室で、表千家の不審庵、京都建仁寺の東陽坊が現存する代表的な茶室で、これらの茶の文化を凝縮して今日まで連綿と伝える舞台装置が草庵茶室であると考えた。
- 4) この侘び文化を多くの人に体験して欲しいとの一念から、草庵茶室を近代建築の施設内に再現する手段として、組立式を思いついたまま京都市内のビルに進出した企業経営者から「草庵茶室」を設置する要望があり試作し設置した。

組立式「草庵茶室」を出席者に理解させるため、森講師は 1 時間に亘り1/20の模型、写真集、パワーポイントを使いながら我々に説明されました。この試作品はまだ緒についたばかりで販売価格は決めていないが、設置を指揮する棟梁などの設置費用を含め約 550 万円と想定されます。

また、受講後商品が組立式であることから、販売よりもレンタルに適性がありホテルなどのイベントにニーズが生まれる可能性が高いなどの意見交換がありました。今後更なる検討を必要とすると思われます。

2. その他

1) 正会員連絡会の運営の改善

正会員連絡会の運営内容を担当理事により年間で定め、次のように開催します。

- * 奇数月は 17 時より開催し会員のスピーカーとテーマを定め討論する。
- * 偶数月は 17:30 より開催しテーマを定めず任意に情報交換、討議を行う。
- * 併せて通常例会の日程を原則第三金曜日とし、講師、テーマ等を決定次第併記する。

2) 正会員の入会者

今月 1 日よりゲスト会員の株式会社門松 森田 芳光代表取締役社長を正会員としてお迎えすることになりました。今後のご活躍と当会に対するご支援を期待しております。

以上

JHRCA関西支部事務局 山田 寛